



# つながり

奈良県立ろう学校 特別支援部  
2020年 5月号

## 各市町村で登校が段階的にスタートしました。

ようやくコロナウィルス感染症による緊急事態宣言が解除されました。各市町村の学校でも分散登校などの設置をとりつつ徐々に再開しつつあります。

来校されたお子様の様子はいかがでしょうか。

本校は、いつも通り補聴・教育相談を受け付けています。きこえや補聴機器に関すること、ことばの指導、自立活動の取組み等、一人ひとりの実態に合わせながら一緒に考えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

### 透明なマスクについて

メディアでも取り上げられ、すでにご存じの方もいらっしゃると思います。

□形や表情が見えることは、難聴のお子さんにとって、話がわかりやすくなり、とても大事なことです。

静かな場所なら1対1や少人数の会話に支障はあまりなくても、雑音下でマスクをしている人の声は、くぐもっている上に小さくなっていて大変聞こえにくくなっています。□形が見えるのと見えないのとでは、聞き取りに差が出やすく、私も□形や表情が見えるとわかる安心感からとてもホッとします。

同封している「音きこえのノート」に、種類や作り方等の詳細をのせていますので、ぜひご活用いただけましたら幸いです。



フリーイラスト素材「いらすとや」に透明なマスクのイラストが！世相を感じました。



### 紙マスクや布マスクを使用する場合・・・

透明なマスクを用意できない等の理由で、紙マスクや布マスクをする場合、子どもたちが理解しやすくなるためにできることはないか考えてみました。

- ◎□ジャー等の補聴援助システムを使う場合は、□からマイクまでの距離(15cm以内)に気をつけ、他の雑音が入らないようにする。
- ◎滑舌よく、ハキハキと話す。
- ◎子どものほうを向いて、聞こえやすい声の大きさやはやさを意識しながら話す。
- ◎端的にわかりやすくしゃべるように心掛ける。(途中で話題を変えたり、他の子どもたちの小さな声での会話に急につっこんだりしない)
- ◎今から話し始めることがわかるようにする。(アイコンタクトをとる、「はい!」「こっちを見てください。」「今から〇〇について2つ話します。」など言ってから話す等)
- ◎板書など文字での情報提示(予定変更の連絡等)や視覚的教材の工夫

マスクを使うことで音圧が下がってしまい、きこえる児童生徒でも聞き取りにくくなる場合もあります。また、上記の方法は他の児童生徒にとってもわかりやすくなると思います。児童生徒やクラスの実態に合わせて工夫をしてみてください。  
(文責 椿野)

「きこえにくい子に合った支援方法を知りたい」「子どものきこえの状況を把握したい」「子どもは、どんな時に困難さを感じている？」など、お聞きになりたいことや相談したいことがありましたら、いつでもご連絡ください。一緒に子どもたちへの支援を考えていきましょう。

奈良県立ろう学校 吉田(小学生以下)・田中(小学生以上)

TEL 0743-56-2921 FAX 0743-56-8833